

# 限界突破のパスポート： 常識という「呪い」を解放して

『バカとつき合うな』(堀江貴文・西野亮廣)に学ぶ、  
AI時代をサバイブする7つのルール

毎日生懸命なのに、  
なぜか「息苦しい」。

人間関係に疲弊し、  
「このままでいいのか」と  
立ち止まる。



そのモヤモヤの原因は、  
あなたの能力不足ではありません。

あなたが「常識という名の呪縛」に  
囚われているからです。



本書のタイトルが示す「バカ」とは、  
学力がない人ではない。

## 【バカの定義】

常識や固定観念に縛られ、  
他人の挑戦の足を引きずり  
下ろそうとする人。

**⚠ 彼らと付き合う時間は、あなたの人生には1秒もない。**

# ルール①：環境は運命ではなく「選択」だ



- 人間の思考や性格は、最も長く時間を過ごす【5人の平均値】になる。
- 「親のせい」「上司のせい」にしてその場に留まるなら、あなたもすでに「同じ穴のムジナ」。

$$(A + B + C + D + E) \div 5 = \text{あなた}$$

「あなたの居場所はどこではない。あなたという才能を腐らせるのはもったいない」  
——堀江氏の人生を変えた恩師の言葉

文句を言う前に、自ら動いて環境（＝平均値）を変える。

# ルール②：「従順さ」は命取り。 クリエイティビティを解放せよ

令和の開拓者

言われた通りにやる

**「ゼロから考える人」**

問題解決、創造性、深い対話を持つ開拓者。

**【AI時代に生き残る唯一の条件】**

**「お勉強ができるバカ」**

前提を疑わず、言われたことをこなす労働者。

**【AIとロボットに完全代替される】**

自分で考える

Y-Axis

昭和の兵士

# 警告：直ちに排除すべき2つの猛毒



## ブルシット・ジョブ (クソどうでもいい仕事)

人類の歴史において、やらなくても社会が回る、誰の役にも立っていない無意味な仕事。あなたの尊厳をすり減らす最大の敵。



## コンフォートゾーン (安全地帯)

自分が慣れ親しんだ不安のない領域。ここに留まる限り、成長は完全に停止する。

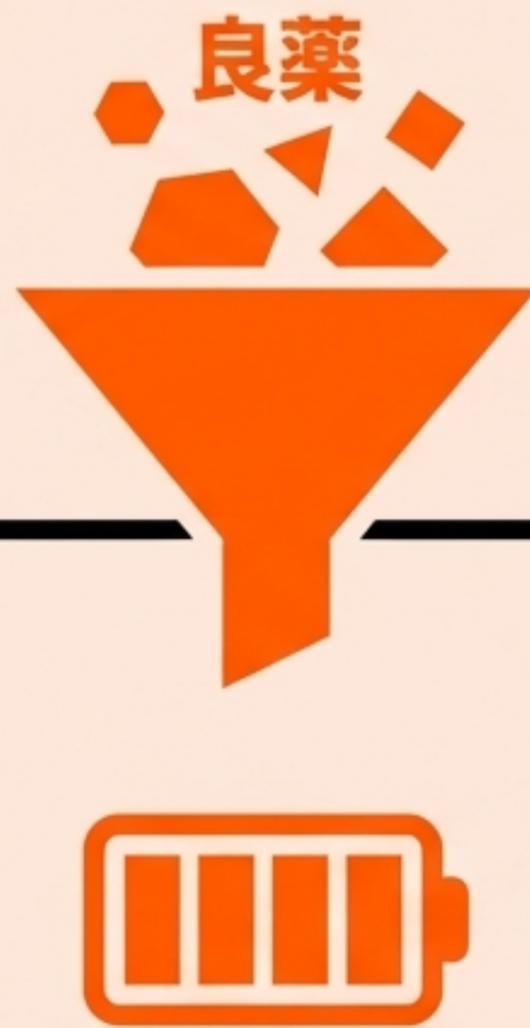
# ルール③：「我慢＝美德」の呪いを解き、 無意味なストレスを捨てる

**捨てるべき我慢**  
(ネガティブ・ストレス)



ブラック企業の理不尽、無駄な書類作成、意味のない会議。「石の上にも三年」は思考停止の言い訳。

**○選ぶべき我慢**  
(ポジティブ・ストレス)



目標達成のための「成長痛」、好きなことに没頭するための試練。

# ルール④：凡人の生存戦略。スキルの「掛け算」で14レアキャラになれ

10人に1人のスキル  
(例:英語)

10人に1人の  
スキル  
(例:動画編集)

10人に1人の  
スキル  
(例:専門知識)

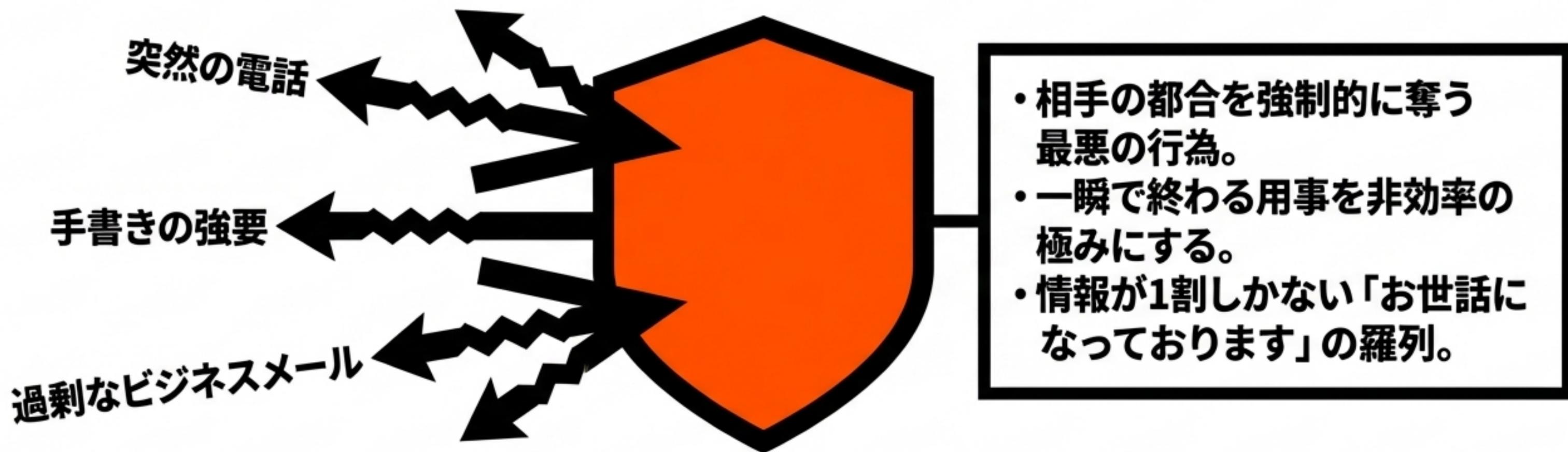
イチローや大谷翔平のような「1つの分野のトップ」を狙うのは天才の戦略。凡人は【タグ】を増やせ。

**【1,000人に1人の希少人材】**

一輪車ではなく、四輪車で走れ。  
一見バラバラのスキルでも、組み合わせが絶大な価値を生む。

# ルール⑤：マナーという名の「時間泥棒」を許すな

最も奪ってはいけないもの、それは自分と相手の【可処分時間（自由に使える時間）】。



諸葛亮孔明の「三顧の礼」すら非効率。本当の敬意とは、相手の時間を1秒でも無駄にしないことだ。

# ルール⑥：未来のマイルストーンに縛られず、現在（いま）に全集中せよ



「65歳まで我慢して老後を楽しむ」という設計はリスクでしかない。

定年退職 /  
65歳からの老後

過去は変えられない。未来はどうなるかわからない。  
コントロールできるのは【今、この瞬間】だけ。

幸福度は「給料」よりも「健康」と「良好な人間関係」で  
跳ね上がる。青い鳥は足元にいる。

# ルール⑦：素人のくせに「一発必中」を狙うな。 バッターボックスに立ち続ける



キングコング西野氏のような「非常に優秀なバカ」は、躊躇せずバットを振り続ける。

天才でさえ、数え切れない失敗の上に立っている。

「お前には無理だ」というドリームキラーは無視しろ。コンフォートゾーンを抜け出し、行動で証明しろ。

# 人生の主役は、 他の誰でもない、あなただ。

「凡人だから」「才能がないから」と俯いている暇は、1秒たりともない。

自分の頭で考え、自分の意志で選び、自分の足で歩け。

泥まみれになりながら「今」に熱狂する姿が、AI時代をサバイブする最強の武器になる。

**今、この瞬間から行動を変える**